

食いしん防災コミュニティ部会がいく！

(第53回 2022年10月)



今年も台風の季節が来た。近年は温暖化の影響なのか、線状降水帯や超大型台風による大規模風水害が、毎年のように世界各地を襲うようになった。湖東地区でも、強風によって2人の命が失われた平成30年西日本豪雨を忘れることはできない。

1日に何百ミリも雨が降ったり、風速30メートルを超える強風に見舞われたりという災害の報に接するたびに、食いしん防はとても気にかかることがある。それは、**森に棲む昆虫たちは、どうやって激しい風雨をしのいでいるのか、だ。**

たとえば、蝶やらトンボやらの空を飛ぶ虫たち。風速30メートルの風や豪雨の中を飛べるとは思えないので、どこかで難を避けていると思われる。でもどこで？ 森の中に避難所やシェルターみたいな場所があるのか？ 木や葉っぱの陰に隠れても、あっけなく吹き飛ばされてしまう気がするのだが…… 蜂の巣でも絶対安全とは思えない。



そして、アリのように地を這う虫たちも心配だ。巣にこもったとしても、そこに大量の水が流れてきたら!? 出入口に蓋をしたくらいでは、浸水を防げないのではなかろうか。水浸しになれば、全滅してしまいそうだが……

かつて子ども会の行事で自然観察会をしたとき、指導役として“昆虫博士”が来たことがあった。近所の田んぼで見つけた虫たちの説明をした後、博士は子どもたちを見回して言った。

「さあ、何か質問はないかな。虫に関することなら何でも答えるよ」

子どもたち、しーん。そこで食いしん防は手を挙げて、上の質問を試してみた。昆虫博士の目がキラリンと光った。そしてこう答えた。

「それはね……**謎ですな**」

その場にいた全員が、心の中で「**知らんのかい!**」と突っ込みを入れたのは間違いない。昆虫博士はすごくすごと去っていった。

しかし、大型台風の後で森や山から虫がいなくなったという話も聞かないので、上手にサバイバルしているのだろう。

「**天気が崩れる時は、こういう場所に隠れるといいんだよ**」

とか、仲間同士で話し合ったりするのか。だとしたら、**昆虫の社会には防災の概念(本能?)があることになる!**

ぜひ昆虫たちの知恵を学びたいものだ。芸能界の昆虫博士として有名だった香●照●のように、自ら災害を招いてしまうのが人間の哀しさなんだなあ。



TOPICS

☆サボってるわけじゃないんだけど……

「ニッポンの夏、キンチョーの夏」という CM がかつてあったが、食いしん防災部会にとっては「ネタ枯れの夏」である。

でも、なーんもせずにサボってるわけじゃないんですよ。部会の会議も開いてるし、関係各機関との打ち合わせもしてるんです。たとえば、11月に予定されている「こと防の活動」。関係者と打ち合わせを重ねて、着々と準備を進めています。決定前に漏らすわけにはいかないんだけど、ちょろっと耳打ちしますと、「誰も取り残さない防災」のための活動に先進的に取り組んでいる団体から事例を教えてください、参考にしようという計画が進行中。

来月にはその具体的な中身も報告できるはずなので、お待ちください！



☆ふるさとまつりに防災食の試食コーナー出店！（予定）

今年は 11 月3日の「ことうふるさとまつり」は、3年ぶりにおまつり広場が復活！

食いしん防災部会もブースを設けて啓発活動を行います。（「防災三択クイズ」のステージは、残念ながらお休み）

内容は、**防災食の試食で、もちろん無料!!** 3年前までもアルファ米の一口おにぎりや、缶入りクラッカー（美味しいジャム付き）を召し上がっていただきましたが、今年はさらなるグレードアップを行う予定。どんな防災食が登場するか、乞うご期待。ぜひ覗いてみてね！

これはイメージです→



今後の活動予定

- 10月21日 災害支援市民ネットワークしが研修「発災時の企業との提携について」
- 11月3日 ことうふるさとまつりでの啓発活動
- 11月ごろ こと防活動（個別避難計画作成にかかる研修会の予定）
- 11月26日 防災出前講座 in 小田苅町
- 12月ごろ 災害支援市民ネットワークしが研修（内容未定）

※ 出前講座の申し込み受け付けます！



勝手にQ&Aコーナー

Q：グレードアップした防災食とは、どのようなものですか。どうせ変なオチがあるんじゃないですか？

A：オチがつく防災食があるなら、こっちが食べてみたいわい！ これまで食べたことがないもの、としか今は言えまへんなあ。



しつこいようですが、これはイメージです→

Q：防災の話で昆虫を持ち出すとは……あまりにイカレすぎてて、もはや批判する気もおきません。

A：おきないと言いつつ、しっかり批判してるじゃないか。昆虫の世界をバカにしてはいけない。彼らは人類のはるか以前から地球にいるのだ。おそらく人類が滅んだとしても、彼らは生き続けるに違いない。彼らがいかに豊かな社会を築いているかを、食いしん防は「みなしごハッチ」で学んだ。



楽しい質問、お待ちしております！

(文責：こじまっちょ)

